

絆

145号



自由民主党

前衆議院議員

桜田よしたか



**日本！この国を強い国に！
～国・地域・家族を守る～**

検証 2011年 東日本大震災、福島原発事故、超円高

政治はどう機能したか？ 政府は役割を果たしたのか？

3.11の巨大地震から9か月。東日本大震災の被災地では復旧・復興に向けて懸命の努力が続いています。しかし、震災の爪あとと深く、寒さに凍てついた地域の再建は思うように進んでいません。

政治、経済、外交、わたしたちの暮らし…日本のあらゆる分野が激震に見舞われた今年も暮れようとしています。この1年、**政治は正しく機能したのでしょうか？ 政府は期待された役割を果たしたのでしょうか？** 日本再興、被災地再建に向けて2011年を振り返ります。

民主党政権は機能不全、復興をリードしたのは自民党

577 項目 震災直後からの提案項目
33 本 自民党主導で成立した法案
12 本 自民独自の議員立法数
9.8 日 平均審議日数

(自民党ホームページより)

577、33、12、9.8…この数字の意味、おわかりになりますか？
正解は左の表にある通り、大震災発生以降、**自民党が積み上げてきた政治の実績**です。

詳しく説明しますと、自民党はこれまでの災害対応、危機管理のノウハウを生かし、大震災発生直後から **10日以内に政府** に対し、**4回にわたる緊急申し入れ** を行い、その後も復旧・復興政策において数々の提言をしてきました。**それが577** という数字です。

大震災とそれに続く東電福島第一原発事故の後、菅政権は大混乱におちいりました。首相官邸内に**わけのわからない組織** を次々に立ち上げたものの、**司令塔不在で指揮・命令系統が乱** れました。

事態は緊急を要しました。被災地の復興だけでなく、円高など日本経済全体の建て直しも同時進行で急がねばなりません。せつかく成立した法案も執行が遅れていたため、**自民党は野党の立場から早期の法案提出と成立を急がせ、行政のスローモ―を追及** しました。

自民党提案をベースに法律 33 本が成立、議員立法も 12 本

私たちの政策提言をもとに**政府が提出・成立させた法律が33本**。今回成立した第3次補正予算もその元となる復旧・復興施策と経済対策を盛り込んだ**17兆円の総合対策パッケージ** を自民党は7月8日の時点で作成していました。それでも対策が進まないものについては、議員提出の方法で法律案を提出し、スピードアップをうながしました。

自民党による議員立法12本の主な法律は次の通りです。

▽**復興再生基本法**＝復興の企画立案から実施までを一元的に行う「復興庁」の設置や「復興債」の発行を定めた法律

▽**津波対策推進法**＝津波被害防止のための啓発や防波堤の整備、観測体制の強化などソフト・ハード両面から対策を進める法律

▽原子力損害賠償仮払い法＝原子力災害による損害賠償金を国が東電に代わって仮払いする法律

▽ガレキ処理特措法＝震災で発生したガレキ処理を国が責任を持って行う法律

▽放射性ガレキ対処法＝福島第一原発事故で拡散した放射性物質に汚染された土地の除染やガレキの処理を国が行う法律

▽二重ローン救済法＝政府案より救済規模も対象も拡大する法律

最後の二重ローン救済法の成立は、事業再建に苦しむ被災企業、事業者にとって大きな前進といえます。正式には東日本大震災事業者再生支援機構法という名のこの法律、再生支援機構が企業などの借金を金融機関から買い取り、最長15年間、元本と利子の返済を免除します。震災前のローン返済が凍結されることで小規模事業者も新規融資を受けやすくなり、地域経済復活にはずみがつくでしょう。

責任政党として復旧・復興に全力を尽くします！

私たちは復旧・復興に限っては政府に全面的に協力してきました。党利党略優先、国益は二の次・野党時代の民主党が得意としたゴネ得、ふて寝の審議引き延ばし戦術は取りませんでした。その成果が震災関連法案の平均審議日数9.8日というスピード記録です。

自民党こそが日本再生を成し遂げ、その任にふさわしい政党だとの自負があったからです。責任政党として、これからも復旧・復興のスピードアップに全力を尽くすことを約束いたします。しかし世論調査では自民党が全体的に復旧・復興の為、協力しているのか？との質問には、『している20%』『していない70%』『その他10%』の結果が報告されているとのこと。自民党の政策・対応が国民に理解されていないことが残念です。

わからない?! 野田首相の政治姿勢を問う～言行不一致、ぶれる発言、勉強不足～

■首相交代⇒総選挙じゃなかったの？

民主党が野党だったころ、野田氏は「総理大臣が変わったら総選挙で信を問うべきだ。国民の審判を受けていない政権は正統性に欠ける」と自民党を厳しく批判していました。

ところが、自らは民主党政権3代目の首相だというのに、「震災復興と円高対策」を理由に解散・総選挙に応じる気配をみせていません。「国家非常事態」をいうなら、1946年4月の第22回総選挙はどうだったのでしょうか。焼け野原の中で終戦後初の衆議院議員選挙が立派に行われたではありませんか？ やらうと思えば出来るのです。言行不一致、ご都合主義はいけません。

■消費税引き上げはマニフェスト違反。解散・総選挙を！

野田首相は消費税率の引き上げを含む社会保障・税の一体改革で与野党協議を呼びかけています。しかし、2009年衆院選政権公約（マニフェスト）に消費税引き上げはありません。また、自民党が3回提出した「財政健全化責任法案」を3回も反対し廃案に追い込みました。

野田総理も安住財務大臣も、選挙の時は、消費税に大反対

総選挙の際は、野田総理も候補者アンケートに次のように答えていました。

- ・私は、4年間の任期中に消費税の引上げを決めることに反対です。(毎日新聞)
- ・私は、徹底してムダを削るまで消費税は上げない。(朝日新聞)
- ・私は、消費税を引上げるべきだと思わない。(読売新聞)
- ・ムダづかいのからくりを残したまま消費税を上げて砂漠に水をまくのと同じ(野田総理HP)

マニフェストは有権者とのいわば契約。消費税引き上げの方向性が一緒だからといって、自民党に抱きついてくるような姿勢はいただけません。重大な政策変更なので、まず国民の声を問い直すのがスジというものです。

■民団に出向いて当選御礼…どこを向いて政治をしているの？！

「絆142号(9月号)」で指摘した野田首相と民団(在日本大韓国民団)とのかかわりが11月15日の参議院予算委員会で取り上げられました。自民党・西田昌司議員の追及に、野田首相は09年の衆院選後に民団の会合で挨拶したことを認め、「推薦をいただいたところにお礼を言うのは普通だ」と述べました。「在日外国人の地方参政権付与には慎重な立場だ」とも釈明しましたが、疑われるような行動は慎むべきです。

■「朝霞住宅」建設問題…“空気”が読めなかった？

埼玉県朝霞市の国家公務員宿舎「朝霞住宅」建設は、世論の厳しい批判で中止になるまで迷走を重ねました。そもそもの発端は2009年11月の「事業仕分け」。朝霞住宅を含む国家公務員宿舎建設計画を凍結しましたが、1年後、政府は公務員宿舎を全体で15%削減するのを条件に朝霞住宅建設の凍結解除を決めました。財務省の政務3役を中心に検討した結果でしたが、国民への説明不足が反発を招きました。当時の財務相は野田さん。国民世論という空気を読み切れなかった“KY責任”はまめがれないでしょう。建設中止になって建設違約金が約40億円とも言われております。これこそ、税金の無駄遣いであり、国民に無駄な負担を強いている結果になっております。

■信念を持って歴史認識の発信を

野田氏は2005年政府に提出した質問主意書の中で「すべての『戦犯』の名誉は回復されている。『A級戦犯』と呼ばれた人たちは戦争犯罪人ではない」との見解を表明しています。この歴史認識は正しいのですが、野田氏は首相になってから持論にフタをしている印象があります。

中国、韓国との摩擦を避けるためでしょうが、過度な隣国への配慮は日本への圧力強化につながります。ふらふらすることなく信念を堅持し、必要に応じて日本の主張を正しく発信することをお願いしたい。

■勉強不足を露呈…TPP参加問題

TPP(環太平洋経済連携協定)交渉参加を表明した野田首相。あやうさがつきまっています。

11月11日、参議院予算委員会TPP集中審議で、野田首相は自民党・佐藤ゆかり氏の質問に言葉が詰まりました。TPPにかかわるラチェット条項(自由化の後退禁止)、ISD条項(投資家や企業が相手国政府を国際仲裁機関に訴えることができる規定)といった専門用語を知らなかったのです。

TPPは高度で複雑な外交交渉。当局者が専門用語を知らなかったら、どんな不利益を飲まされるかわかりません。しっかり勉強した上で交渉に臨んでほしいものです。

繰り返し主張してきたように、自民党は震災対策で政府を最大限サポートしてきました。一日も早い被災地再建と日本再興を願ったからです。しかし、協力するのは2011年度第3次補正予算の成立まで。

補正予算が成立し復興のメドが立った今、私たちは民主党政権を解散・総選挙に追い詰める作戦にカジを切りました。なぜならば、現在の統治能力なき民主党政権の存在は、日本を破滅させてしまう方向に進めているからです。野田民主党内閣を一日も早く退陣させ、政権奪還を果たし、国家の安全保障を確立し、国民生活を安定させ、国民目線の政策を遂行しなければなりません。

最後に、皆さま方の1年間のご支援に感謝するとともに、新年に賭ける桜田義孝の決意を述べさせていただきます。——総選挙で振り返りを果たし、元気な日本を取り戻したい。来年もよろしく願い申し上げます。

★櫻田義孝チバテレビのお知らせ★

チバテレビ

2011年11月より毎週土曜日9時30分スタート!

サタデープロジェクト

櫻田義孝がメインキャスターの「サタデー千葉プロジェクト」
絶賛放送中！政治から地元の話まで櫻田の鋭い解説を
毎週お届け致します。【放送局・時間】千葉テレビ(3ch)朝 9:30～10:00



12月10日(土)＜放送第6回＞

- 第1部:著名人との対談
大田弘子 政策研究大学院大学 教授
(元内閣府特命担当大臣 経済財政政策担当)
- 第2部:地域の有名人との対談
猪又かじ子(柏市在住写真家)
- 第3部:地域のイベント 大堀川清掃の模様

12月17日(土)＜放送第7回＞

- 第1部:著名人との対談
一色正春「sengoku38」元海上保安官
- 第2部:地域の有名人との対談
山岸初美 我孫子市アロハ協会 会長
- 第3部:地域のイベント
松葉町防災講話
長島衆議院議員 新潟中越地震時元山古志村村長

12月24日(土)＜放送第8回＞

- 第1部:著名人との対談
山川裕隆 時事通信
- 第2部:地域の有名人との対談
荒木敏文 リレーマラソン実行委員長
- 第3部:地域のイベント 秋のこんぶくろ池祭りの様子

12月31日(土)＜放送第9回＞

- 第1部:著名人との対談
平野貞夫 元民主党参議院議員
通称:小沢一郎元民主党代表の“懐刀”
- 第2部:地域の有名人との対談
高橋稔 千葉県鳶工業会
- 第3部:地域のイベント
10月30日 野田市福祉施設での、はしごのり演技
9月10日 ふるさと田中みこしまつりの模様

どなたでも参加できます！

☆平成24年新春セミナー開催のお知らせ

(日時)平成24年1月27日(金)18:00～20:10(受付17:30～)

(場所)マリアチャペルマリベール柏 (旧玉姫殿)柏市柏233

(会費)10,000円

＜セミナーテーマ＞

「政権奪還への道すじ」片山さつき議員と櫻田義孝の対談
明治大学マンドリン演奏&ジャズ歌手 國井美和さん
問い合わせ)櫻田義孝事務所 TEL:04-7132-0881
担当:山口・野口

櫻田義孝 NHK スペシャルに出演！

「永田町証言ドキュメント 政権交代」

12月25日(日) 21:15～22:45(予定)

黨員募集のお知らせ

【入党手続き】

桜田事務所までご連絡ください

【自民黨員になると】

2年間継続した黨員は、自民党総裁選挙
有権者になります。桜田義孝事務所より
活動報告や行事案内をお送り致します。

【黨員種類】

一般黨員 年間 4,000円

家族黨員 年間 2,000円

櫻田義孝事務所

〒277-0814 柏市正連寺 374 TEL:04-7132-0881 FAX:04-7132-6456

ホームページ <http://www.sakurada-yoshitaka.com/>

メールアドレス web@sakurada-yoshitaka.com

Twitter (ツイッター) <http://twitter.com/ysakurada>